

平成28年度 学校法人 三幸学園 名古屋辻学園調理専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：教務課長 小林 有洋

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 堀 潔

1. 学校の教育目標

三幸学園は、昭和 60 年の開校以来『技能と心の調和』を教育理念に掲げ、教育を展開してきた。ここでは、社会への有益な職業人を数多く輩出することを目標に、“有益な職業人とは、専門的知識・専門的技術を十分持ちながら、常に変遷する社会に対し柔軟に対応するため日々研究・研鑽を続け、職業人としての使命感をしっかりと確立した人物”と定義し、心豊かな人間性を育む教育に注力している。

この基本理念は、教職員に対しては、教職員手帳に明記し配布しているほか、全教職員が一同に集う「全体会議(年2回開催)」や全国の教職員が集まる研修会である「ビジョンミーティング」や「サマーセミナー」において理事長からの訓示の中で繰り返し唱え、共有化を図っているものである。また、学生に対しては、「入学式」や「スタートアッププログラム」において、教職員からの言葉として示すとともに、本校独自のカリキュラム「未来デザインプログラム」の授業で使用する「夢のスケッチブック」に記載し周知を図っている。このほか、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて伝え、また、パンフレットに明記することにより学内外の周知に努めている。

2. 平成28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・歴史ある学校の分校開校における教育内容の担保

長い歴史を持つ調理師学校が初めて分校開校するにあたり、大阪校にある諸条件にて長年培われた授業内容をあらたな地域、新たな設備で大阪校と同じ教育内容を再現する事を目標に食材の仕入れを始めカリキュラムの確立にも注力する。

・就職先の担保

新設校と言う事もあり、各企業や個人店などに積極的に就職に関する話を行い今後の卒業生の就職先を確保するように努めている。大阪校にてつながりのある多くの就職先の中で東海地区に関連する企業や個人店に強く働きかけを行っている。

【学校関係者評価委員会コメント】

- ・新設校ではあるが、グループ校の運営方法を活かし安定した運営が出来ている。また、知名度も大阪辻学園の歴史がある為、確実に広がっていると考えられる。
- ・在校生は将来のビジョンや就職先を明確に持っている在校生が多いので、今後も確かな就職先の担保をお願いしたい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学園としての理念・学校目標は明確に定まっているが、新設校と言う事もあり周知に関して課題を感じる。

② 今後の改善方策

教職員に課題の共通認識を持ち、まずは日々の授業において在校生に理解を求める。

また、受験生、高等学校、保護者等に対しては、オープンキャンパス、高校訪問、保護者説明会などを通じて周知を図る。

③ 特記事項

教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園の教職員としてのビジョンを「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」と設定し、調理分野におけるビジョンを「食を通じて、日本を明るく元気にする」と設定した。これらを踏まえて、人材育成方針を「伝統に培われた技術と心を高め、食文化を通じて社会に貢献できる人材」と設定し、全教職員への浸透を実施している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・学校の理念や育成像は明確に定められている。

辻学園の歴史で培われた業界との繋がりを活かし、業界との連携強化に注力するように。

近年業界の変化も激しい為、目指す育成人材像は見直していく。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

新規校と言う事もあり全ての業務に関してシステムやマニュアル構築の必要性を感じる。
組織形態もより良い教育環境を担保する為に新たな組織作りを行う。

② 今後の改善方策

運営方針に基づき、定期的な運営状況の見直しを行いブラッシュアップを行う。

③ 特記事項

三幸学園のスケールメリットを活かし、姉妹校間で情報や資料を共有し業務効率化を行っている。また、各雇用形態に準じて就業規則や職員行動指針を設定して職員会議にて共有し就業規則の徹底を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・目的や事業計画はしっかりとしているが、開校初年度と言う事もあり、運営組織や意思決定機能などすべての面における強化が課題にある。
- ・人事・給与関係等の就業規則は整っている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

関連分野の企業との繋がり構築や外部関係者との繋がり構築など、これから地元の繋がりを構築する事。

② 今後の改善方策

教職員の校務状況を精査しながら外部との連携に取り組める環境整備。

③ 特記事項

外部との繋がりも大切であるが、まずは学校運営自体の安定を構築する事に注力する。

④ 学校関係者評価委員会コメント

技術指導においては歴史ある辻学園の技術を継承して欲しい。

入学者のニーズとしては専門性の教育内容の質の高さと就職率に期待をしているので辻学園だからできる教育内容や産学連携を作って欲しい。

授業内容の検討の際はより専門性が高いものを求めて欲しい。

見学実習(一日現場見学実習)を行って現場を見学すると学びも多いので行ってみたいかどうか。

辻学園のネームバリューを活かした多くの研修先の確保をしてほしい。

(4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用する。	3

① 課題

就職先の確保。就職指導に関する年間スケジュールの構築。

② 今後の改善方策

就職決起大会などを行い、在校生の就職に対する意識向上に努める。

企業訪問なども意欲的に行う。

③ 特記事項

新規校の為、今後卒業生に関する対応も構築、検討を行う。

④ 学校関係者評価委員会コメント

求人が多いからこそ悩んでしまう事もある、各人にあった就職先を紹介して欲しい。

入学希望者は就職先の質の高さに期待をし、希望を持つので辻学園にしかないような求人。一般に出にくい求人が欲しい。

退学率は入学希望者をはじめ高校としても重視する項目の一つ。もちろん退学内容にもよるが今後も退学の低減に努めてほしい。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	2
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2

① 課題

就職先の新規開拓。

就職支援に関する体制整備。

② 今後の改善方策

就職先への訪問を行う。

教職員全体に生徒指導における方針を常に理解し、実行していく事を促す。

③ 特記事項

保護者との連携も取り授業見学会も行い保護者と情報共有を行う事にも努める。

新規校ではあるが、歴史ある姉妹校にて就職に関する支援が可能。

④ 学校関係者評価委員会コメント

担任との連携が深く出来ていると思われる。さらに保護者との連携も深めて欲しい。

自主練習の時間などを設けて安心して技術の習得が出来る取り組みがなされている。

就職支援に関して就職に関する資料が見やすく整備されている。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

施設設備に関して未使用の物も多く使用方法が解らない物もあり、使用方法のマニュアルなどの作成。
インターンシップの受け入れ先確保や海外研修旅行の運営方法の確立。

② 今後の改善方策

施設設備に関してマニュアル作成を行う。
就職先開拓とあわせてインターンシップの受入可否の確認を行う。

③ 特記事項

外部講師を招いての講習等を増やし、連携を深めていく。

④ 学校関係者評価委員会コメント

新設校と言う事もあり、施設や備品は整っている。
実習先の開拓も徐々に行われており、今後に期待できる。
防災マニュアルは整備されているが、教職員も施設に慣れていないので避難訓練などの実施を多くすると安全性が高められる。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

新規校として地域知名度が弱い。

② 今後の改善方策

募集活動も意欲的に行う。一期生の声を活用して知名度を上げる。

③ 特記事項

平成28年度の実績を記録していき、今後の募集活動において正確に伝える準備を行う。

④ 学校関係者評価委員会コメント

募集活動は適正に行われている。

学納金の納入方法などが充実しており、奨学生制度も整備されている。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

今年度に新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

なし

【委員コメント】

・特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

初年度の自己評価の結果にて課題を抽出。

② 今後の改善方策

自己評価にて抽出された課題に対して会議などを持ちチームを構築して課題解消に取り組む。

③ 特記事項

平成29年度より自己評価の公開を行う
コンプライアンス遵守の映像を職員全員で視聴し啓蒙。

④ 学校関係者評価委員会コメント

個人情報保護などについて教職員の研修会を行い体制強化に取り組んでいると感じられる。
新設校なので外部の声を多く取り入れて教育の質を高めて欲しい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

開校年度にあたり教育質の担保を最優先して社会貢献・地域貢献に対しての運営があまり出来ていない。

② 今後の改善方策

学校運営を安定させて地域や社会にも貢献出来る環境を整える。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

学校運営に力を入れていて社会貢献活動は弱いように感じる。新設校と言う事もあるので今後は積極的に社会貢献も取り組んでほしい。

教育効果も考慮したボランティア活動なども行ってほしい。

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

学生の就職受入先の確保

② 今後の改善方策

留学生に関する就職先を意欲的に確保する。

③ 特記事項

平成28年度留学生入学者 2名(全体23名)

④ 学校関係者評価委員会コメント

留学生が今後も増える事が予想されるのでフォロー体制の強化に努めてほしい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

開校一年目ではあるが、学園のスケールメリットを活かして教育理念や育成人材像などはしっかりと定められている。定められたものを元の実運営においてより安定した運営を目指して取り組んでほしい。

学校の健全運営をより安定したものにし、地元の知名度や地域貢献に関しても積極的に行うように取り組んでほしい。教員側のスキルの向上も今後の課題と思われる。あきらめない教育を元に教職員教育も高めてより良い教育を目指して欲しい。